

京都大学教育学研究科 ・ グローバル教育展開オフィス

- 受給者 藤間 公太先生（教育社会学講座・准教授）
- 国際交流活動名：「Ethnic and Religious Inequalities in Educational Outcomes among Care-experienced Children（社会的養育を受けた経験を持つ子どもの教育達成におけるエスニシティや宗教よる不平等）」
- 主催者/主催団体等：教育実践コラボレーションセンター
／SMBC京大スタジオ
- 実施場所・方法：総合研究2号館教育学部第一講義室・対面
- 実施日：2024/12/18
- 参加者数：合計15名

活動の概要

社会階層論、移民研究を専門とする社会学者である、Cardiff大学のSin Yi Cheung教授をお招きし、セミナーを開催した。

Sin Yi教授には、ウェールズにおいてChildren Looked After (LAC)、Children in Need (CIN)およびChildren Receiving Care and Support (CRCS：2016年以降)を受けているエスニック・マイノリティの子どもの教育達成や保健サービス利用のパターンを、白人の子どもたちや児童福祉サービスを受けていない子どもたちと比較した研究についてご報告いただいた。

この研究は3つの行政データをリンクしたデータを用いている。具体的には、(1) 2009年1月～2010年3月～2015年3月 (CIN) および2017年以降のCRCSの記録、(2) ウェールズの州立学校に在籍する全児童の人口統計と教育達成度を含むPupil Level Annual School Census、(3) 2011年人口センサス、である。

分析結果からは、児童福祉システムが、学業成績の良い黒人やその他のエスニシティの子どもを選択的に養護施設に入所させている可能性がある一方で、社会福祉サービスの介入は少数民族の子どもには効果が低い可能性があることを示唆された。この知見は、エスニシティによる教育の不平等に関する学術的議論を児童福祉サービスにおける研究へと拡張し、政策介入のための重要なエビデンスを提供するものである。

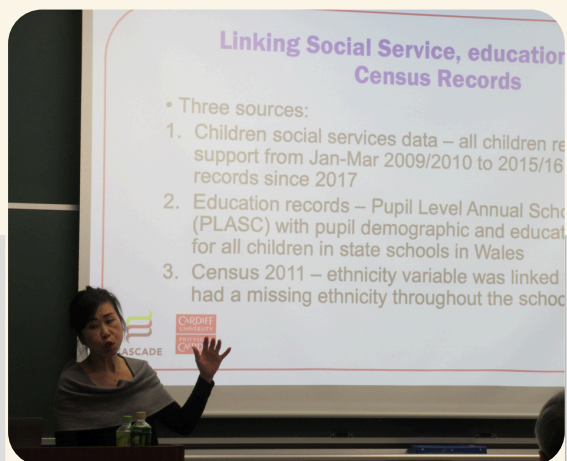
フロアとの質疑応答も大変盛況であり、充実したセミナーとなった。複数の行政データをリンクして分析する研究は、そもそも行政データに研究者がアクセスすることに高いハードルがある日本では実施が難しいことから、その点でも参加者にとって刺激的な会となった。

※ Sin Yi先生のご研究内容について引用・参照をご希望の際には、藤間公太准教授にお問い合わせください。

京都大学教育学研究科 ・ グローバル教育展開オフィス

- 受給者 藤間 公太先生（教育社会学講座・准教授）
- 国際交流活動名：「Ethnic and Religious Inequalities in Educational Outcomes among Care-experienced Children（社会的養育を受けた経験を持つ子どもの教育達成におけるエスニシティや宗教よる不平等）」
- 主催者/主催団体等：教育実践コラボレーションセンター
／SMBC京大スタジオ
- 実施場所・方法：総合研究2号館教育学部第一講義室・対面
- 実施日：2024/12/18
- 参加者数：合計15名

活動の様子・説明



セミナーの様子

セミナーの様子



セミナーの様子

